

良質良食味で多収の水稲新品種「みのりの郷」

利用対象：土地利用型農家、普及指導員

人口減少や食生活の変化等により、「コシヒカリ」等家庭用米の需要は減少しつつありますが、業務用米の需要は急激に拡大しています。そのため、実需者からは本県における栽培適応性の高い業務用新品種の開発が強く求められています。そこで、良質良食味で多収の水稲新品種「みのりの郷」を育成しました。今後、業務用米等多用途に向く品種として、普及を進めていきます。

表 「みのりの郷」の生育収量調査結果(農業研究所内、2013～2015 年度、2017～2018 年度)

品種名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	精玄 米重 (kg/a)	比較 対比 (%)	千粒 重 (g)	玄米 外観 品質 (1-9)	倒伏 程度 (0-5)	食味 スコア
みのりの郷	8.10	9.12	69	20.9	370	59.4	101	23.6	4.6	0.0	77
みえのゆめ	8.03	9.06	70	20.8	373	58.8	100	23.4	5.7	0.0	67

注)移植期は 5 月 15 日。玄米外観品質は「上上」(1)～「下下」(9)の 9 段階、倒伏程度は「無」(0)～「甚」(5)の 6 段階で評価。食味スコアは 2018 年度のデータ。

品種特性 (みえのゆめとの比較)

- ・ 出穂期は 7 日程度遅く、成熟期は 6 日程度遅い。
- ・ 稈長、穂長および穂数は同程度であり、草型は偏穂重型に属する。
- ・ 葉いもち、穂いもち抵抗性はいずれも「強」であり、白葉枯病抵抗性は「中」である。
- ・ 玄米千粒重はほぼ同程度であるが、乳白粒等の未熟粒が少なく、外観品質は優れる。
- ・ 食味は「コシヒカリ」と同程度の良食味である。
- ・ 収量は「みえのゆめ」と同程度の多収である。



図 1 成熟期前の「みのりの郷」(松阪市、2018 年 9 月)



図 2 「みのりの郷」の精白米

(利用上の留意点)

- ・ 耐倒伏性に優れ、いもち病の発生も少ないことから、多肥栽培により多収が見込める。
- ・ ごま葉枯病には強くないため、登録のある薬剤により適期防除を行う。
- ・ 県内で作付される他品種と比較して成熟期が遅く、斑点米カメムシ等の被害を受けやすいため、作付の団地化を図るとともに、適期防除を行う。
- ・ 栽培にあたっては、民間企業との全量契約栽培が前提となる。

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 大野鉄平 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 地域農業推進課 磯山繁幸 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm